

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひだまり

## 目標達成計画書

作成日: 平成 26 年 08 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	地域福祉事業の拠点を目指し、行政や地域住民と協働で介護相談事業の推進と、職員が、地域行事に準備段階から参加し、地域住民と協力しながら信頼関係を築いていく。	職員は、地域の行事や会議に、積極的に参加し、事業所の認知症介護の知識を活かし、高齢者や家族の相談や悩みを受けて、解決に向けて行政と取り組み、地域との信頼関係を築き、地域福祉の拠点を確立していく。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等の意見の反映	面会や行事に参加が多い家族と、少ない家族がいるので、利用者の暮らし振りや、健康状態を家族全員に伝えていくことが難しいので、家族との交流を積極的に行い、職員と家族の信頼に繋げていく。	家族が参加しやすい日時を設定して、行事を開催し、沢山の家族と職員が、ゆっくり話し合う機会をつくり、利用者や家族と職員が信頼の絆で結ばれるように取り組んでいく。また、ホーム便りを定期的に発行し、利用者の健康状態や、ホームの運営等を伝え、家族が安心出来る体制を整えていく。	12ヶ月
3	13	人権尊重	職員の技術力の差を出来るだけ解消し、どの職員が、利用者を介護しても、同じサービスの提供が受けられ、利用者や家族から満足してもらえるように取り組んでいく。	職員の経験や習熟度、やる気等を参考にして、外部研修に交代で参加してもらい、職員一人ひとりが、意識の高揚と介護技術を向上させて、報告会で職員全員に知識を伝達し、職員一人ひとりの介護力の向上を目指していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。